

皆さんこんにちは。今年度みどりの会会長を務めている松山聰です。みどりの会は、農業後継者の技術の向上や知識の習得を目的に結成され今年で36年目を迎えました。最近では若い会員も増え、平均年齢が大幅に若くなりました。この会の主な活動は、野菜生産事業、町内優良園視察、ナイター学習会、文化祭などでの即売会、剪定会、県内県外研修などです。今日は、わたしが印象に残った2つの事業について報告したいと思います。



△マンゴーのハウス栽培について聞く会員たち

まず一つ目は、県内研修です。今年度の県内研修は、板柳町の農業後継者の会「みすぐり会」と合同で行い、みすぐり会会員である斎藤寿さんのわい化園を視察しました。同年代の斎藤さんの技術の高さに皆驚き、感心させられたと思います。みどりの会とみすぐり会は、お互い名前は知っていますが、顔を会わせるのが初めてだつたため最初は緊張気味でした。しかし、視察後の交流会ではすっかり打ち解け大いに盛り上がりました。

研修会になりました。せっかくの後継者の会同士の繋がりなので、今後もお互いの会が向上し合える関係を築いていかなければと思います。2つ目は県外研修です。今回は「鶴の架け橋交流事業」に参加してきました。さつま町内にある祝迫果樹園でマンゴーのハウス栽培を見学し勉強しました。園地の方の説明でマ

ンゴー作りが予想以上に手間が掛かることに驚かされました。ここではミカンの低樹高栽培もしており、もちろんリンゴとは違いますが参考になったと思います。次にブランチ用の切り花の栽培を手掛け南原農園を訪ねました。この農園は、昨年の夏に青森で行われた「全国農業コンクール」で優秀賞を受賞した農園です。ここでは、生花を長期保存するブリザーブドフラワーの加工技術を見学することができます。高級花である胡蝶蘭をブリザーブド加工するなど、驚かされるところばかりでした。

「鶴の架け橋交流」では、郷土芸能祭での特産品販売ブースで、みどりの会のリンゴを販売し、15kg入りダンボール60箱が、2時間弱で売り切れるという結果に、改めて県産リンゴの人気の高さを感じることができました。中でも王林が人気で、聞く所によると鹿児島に王林が入ってくることがないそうで、珍しさもあってか王林だけを買うお客様も少なくありませんでした。

わたしは、みどりの会に入つて多くの知識・技術を学び、多くの仲間を持つことができました。そのことが今の農業経営に大変役立っています。農業後継者で、みどりの会に興味のある方はぜひ入会をお勧めします。一緒に勉強して、鶴田町の農業を盛り上げていきましょう。



△大盛況だったリンゴ即売会（鹿児島県さつま町にて）

【広報つるた有料広告欄】

敷金分割で楽々入居

深夜の内見22時頃迄OK！

光インターネット使い放題！

デジタル放送BS・CS・e2 OK！

火災報知器全室設置済み

短期入居も可能

冷暖房完備 車場付

アーバンハウス コスモス

鶴田町鶴田沖津296-7 TEL: 0173-28-2668 安田

鶴田町 アーバンハウスコスモス

検索

新学習指導要領に合わせて学研算数教材も改訂に！

学研 鶴田教室

幼児／算数・数学・国語／小学英語・中学英語

「小学校入学直前コース」「春の特別教室」受付中！

新中学1年生・2年生大募集！「無料体験」実施中！

中学校英語はスタートが肝心。中学生も無料体験大歓迎。

みどり第2団地 工藤 TEL 22-6020 FAX 22-6929

わたしも筆 （鶴田の農業をもつと盛り上げていきましょう）



さとし
松山 智さん
(鶴田町みどりの会会長)

会のみんなから慕われる兄貴的存在の松山さん。日ごろから会員に「消費者の皆さんに安心安全な農産物を提供しよう！」と呼び掛け、今の厳しい農業を若者の発想で前向きにとらえ、会を盛り上げていこうとする姿は立派の一言。そこで、今回「みどりの会」の活動レポートをお願いしました。